

日常の移動や公共交通に関するアンケート
集計結果
【概要版】

令和8年3月
大田区

目次

第1節 アンケートの概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査結果.....	1
第2節 アンケートの結果.....	2
1. 年齢.....	2
2. 住まい.....	2
3. 運転免許証の保有状況.....	3
4. 公共交通以外で普段利用可能な交通手段.....	3
5. 最寄り駅・バス停の状況.....	4
6. 買物（生鮮食品）で最も利用するお店.....	6
7. 最も利用するお店への移動手段.....	8
8. 最も通院頻度が高い医療機関.....	9
9. 医療機関への移動手段.....	11
10. 買物（生鮮食品）、通院以外の外出目的と移動手段.....	12
11. 地域で外出時（買物、通院、その他の用事）に困っていることや不便に感じていること.....	13
12. 地域の実情にあった交通手段の導入のための取組に関する最も近い考え.....	14
13. 地域に新たな交通手段が導入される場合、あなたが『利用したい』と思う条件.....	15
14. 問6-2で回答した条件で新たな交通手段が導入された場合の使用する頻度.....	16
15. 自由意見.....	17
第3節 総括.....	19
1. アンケート結果から得られた主な知見.....	19
2. 各地域の考察.....	19

第1節 アンケートの概要

1. 調査目的

大田区では、駅やバス停から離れた交通不便地域の改善を図るため、特に高齢者や子育て世帯など移動支援が必要な方を対象とした交通サービスの導入を検討している。本アンケートは、導入検討にあたり、地域住民の移動実態や交通ニーズを把握することを目的として実施したものである。

2. 調査方法

1) 調査対象

区内の公共交通不便地域（鉄道駅から 500m 以上かつバス停から 300m 以上離れている地域）のうち、田園調布地域及び中馬込地域在住の住民

- ・田園調布地域：田園調布三丁目、田園調布四丁目、田園調布五丁目
- ・中馬込地域：中馬込一丁目、中馬込二丁目、中馬込三丁目、西馬込一丁目、西馬込二丁目、上池台五丁目、仲池上一丁目、仲池上二丁目

2) 集計期間

田園調布地域：令和 7 年 10 月 28 日（火）～12 月 26 日（金）

中馬込地域：令和 7 年 11 月 21 日（金）～12 月 26 日（金）

3) 回答方法

Web アンケートと紙アンケートの二通りで実施

- ・Web アンケート（二次元コード読込）
- ・紙アンケート（特別出張所などの公共施設に設置したアンケート回収箱にて回収）

3. 調査結果

1) 回収票数

761 票

【内訳】

- ・田園調布地域：461 票（Web：363 票、紙：98 票）
- ・中馬込地域：191 票（Web：88 票、紙：103 票）
- ・その他地域※：109 票（Web：21 票、紙：88 票）

※調査対象地域外の在住者からの回答は、「その他地域」として集約した。

※本資料内の図表等は、端数処理の影響により、パーセント等の構成比の合計が 100 にならない場合がある。

※本資料は、体裁の都合上、集計結果報告書の詳細版の掲載順と一部異なる場合がある。

第2節 アンケートの結果

1. 年齢

<田園調布地域>

- ・60歳以上が62.1%を占めている。

<中馬込地域>

- ・60歳以上が73.3%を占めている。
- ・30歳代が11.0%を占め、田園調布地域（3.7%）よりも多い。

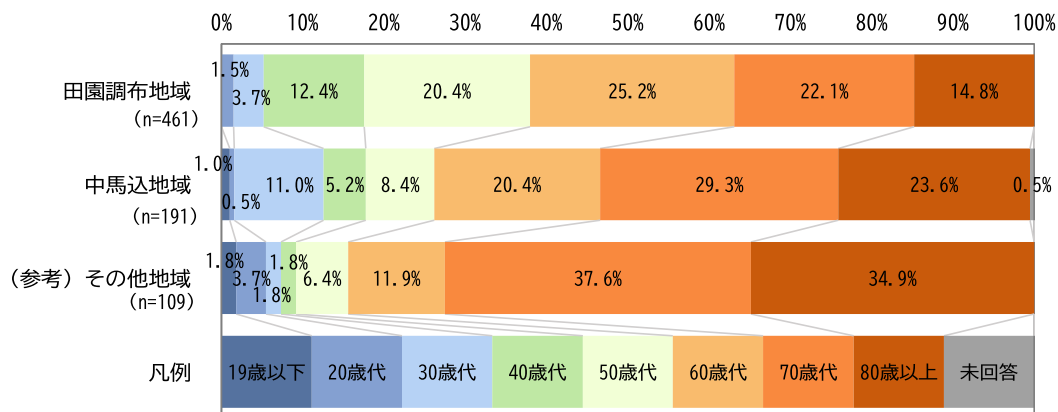


図 1 年齢（問 1-1）

2. 住まい

<田園調布地域>

- ・「田園調布五丁目」の在住者が77.4%と多数を占めている。

<中馬込地域>

- ・各町丁目に分散して回答が得られている。

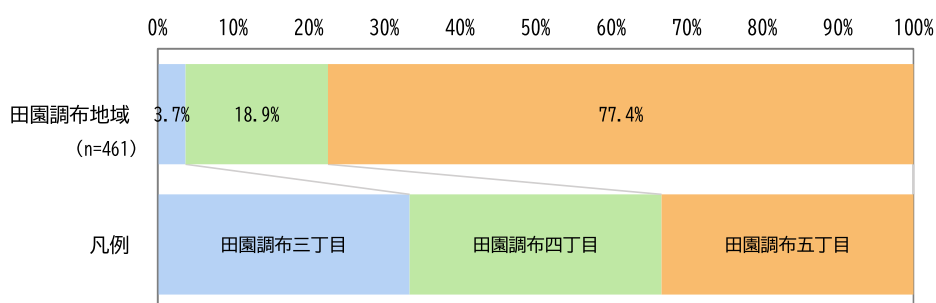


図 2 住まい（田園調布地域）（問 1-3）

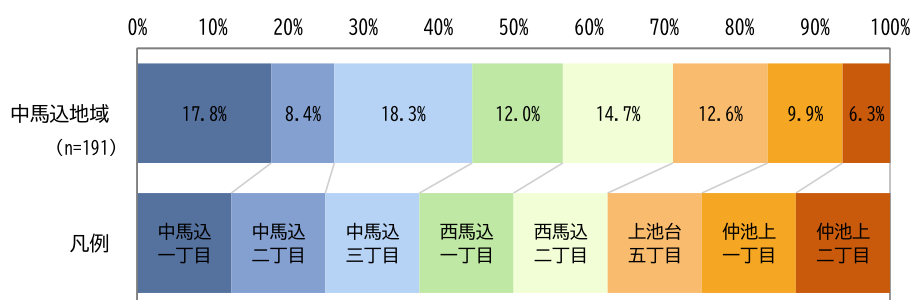


図 3 住まい（中馬込地域）（問 1-3）

3. 運転免許証の保有状況

<田園調布地域>

・「免許あり」と回答した方が72.5%と、多数を占めている。

<中馬込地域>

・「免許あり」と回答した方は47.1%に留まる。また、「自主返納者(18.8%)」と「非保有者(30.4%)」を合わせると49.2%と半数近くに達する。

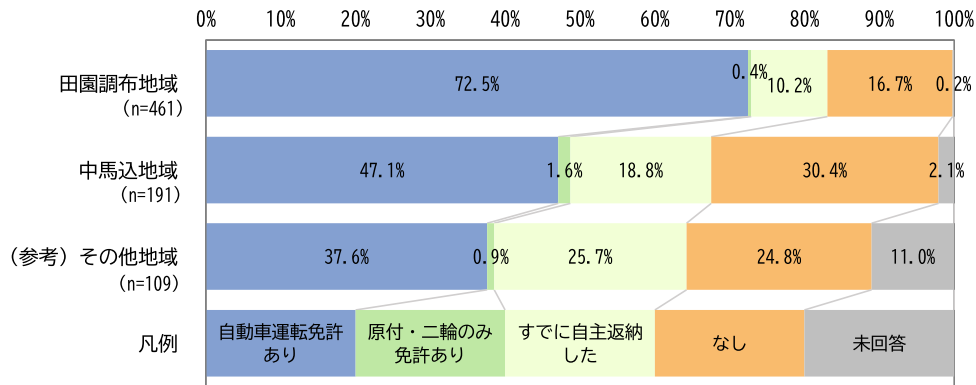


図 4 運転免許の保有状況 (問 1-5)

4. 公共交通以外で普段利用可能な交通手段

<田園調布地域>

・「自家用車(自分の運転)」(52.7%)が最多の回答である。

<中馬込地域>

・「自転車」(48.7%)が最多の回答であり、地域間で主要な交通手段が異なる。

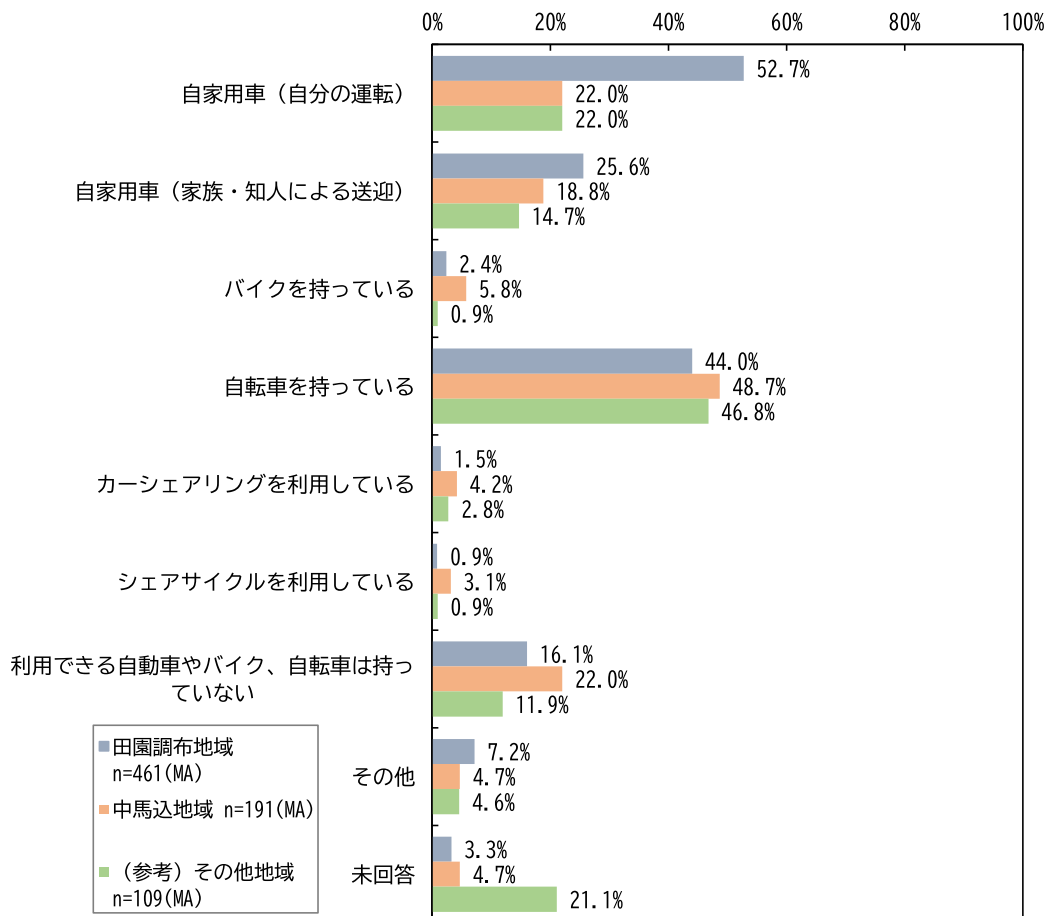


図 5 公共交通以外で普段利用可能な交通手段 (問 1-9)

5. 最寄り駅・バス停の状況

<田園調布地域>

- ・最寄りの駅については、「田園調布駅」と答えた回答者の割合が82.6%と高い。
- ・最寄りのバス停については、多摩堤通りにあり、多摩川駅と二子玉川駅を結ぶ路線が通る「玉川温室村」(28.9%)と「田園調布五丁目」(24.1%)が、回答の半数を占めている。

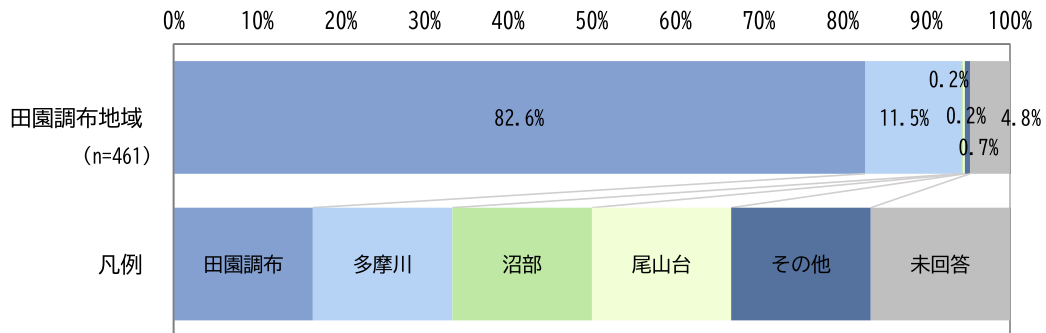


図 6 最寄り駅 (田園調布地域) (問 1-8)

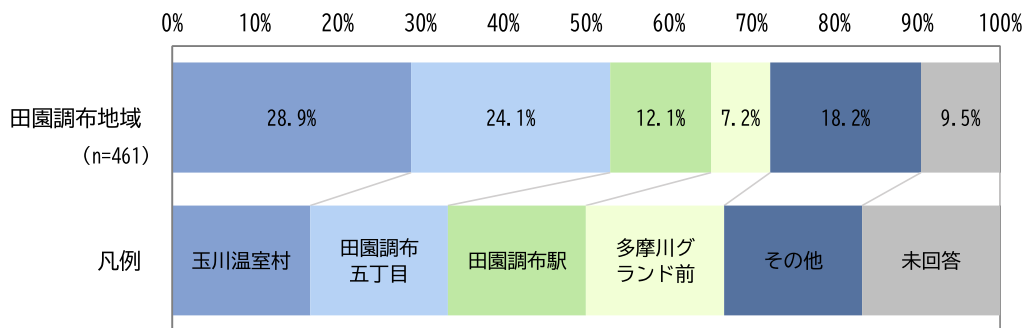


図 7 最寄りバス停 (田園調布地域) (問 1-8)

<中馬込地域>

- ・最寄りの駅については、「西馬込駅」(52.4%)や「馬込駅」(38.2%)の回答が他の駅と比較して多い。
- ・最寄りのバス停については、回答者の居住地と同様、分散傾向にある。

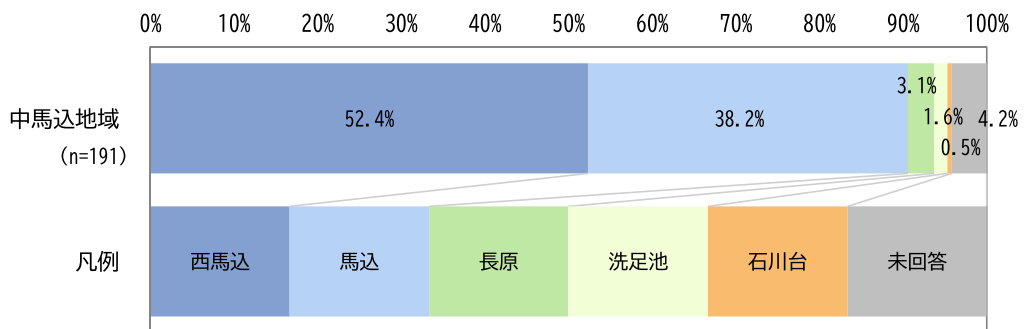


図 8 最寄り駅 (中馬込地域) (問 1-8)

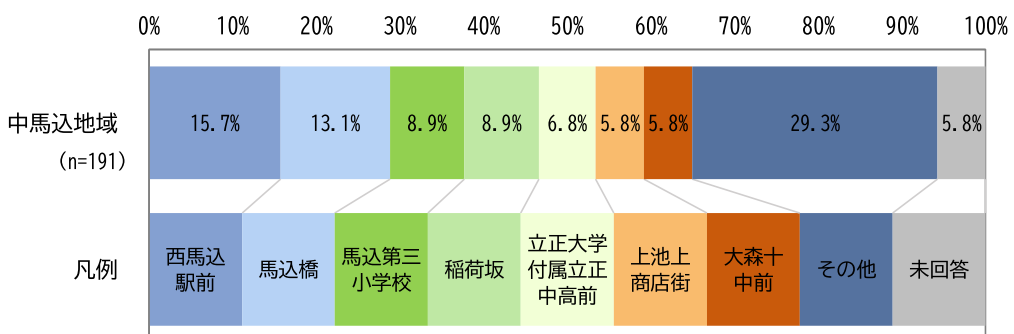


図 9 最寄りバス停 (中馬込地域) (問 1-8)

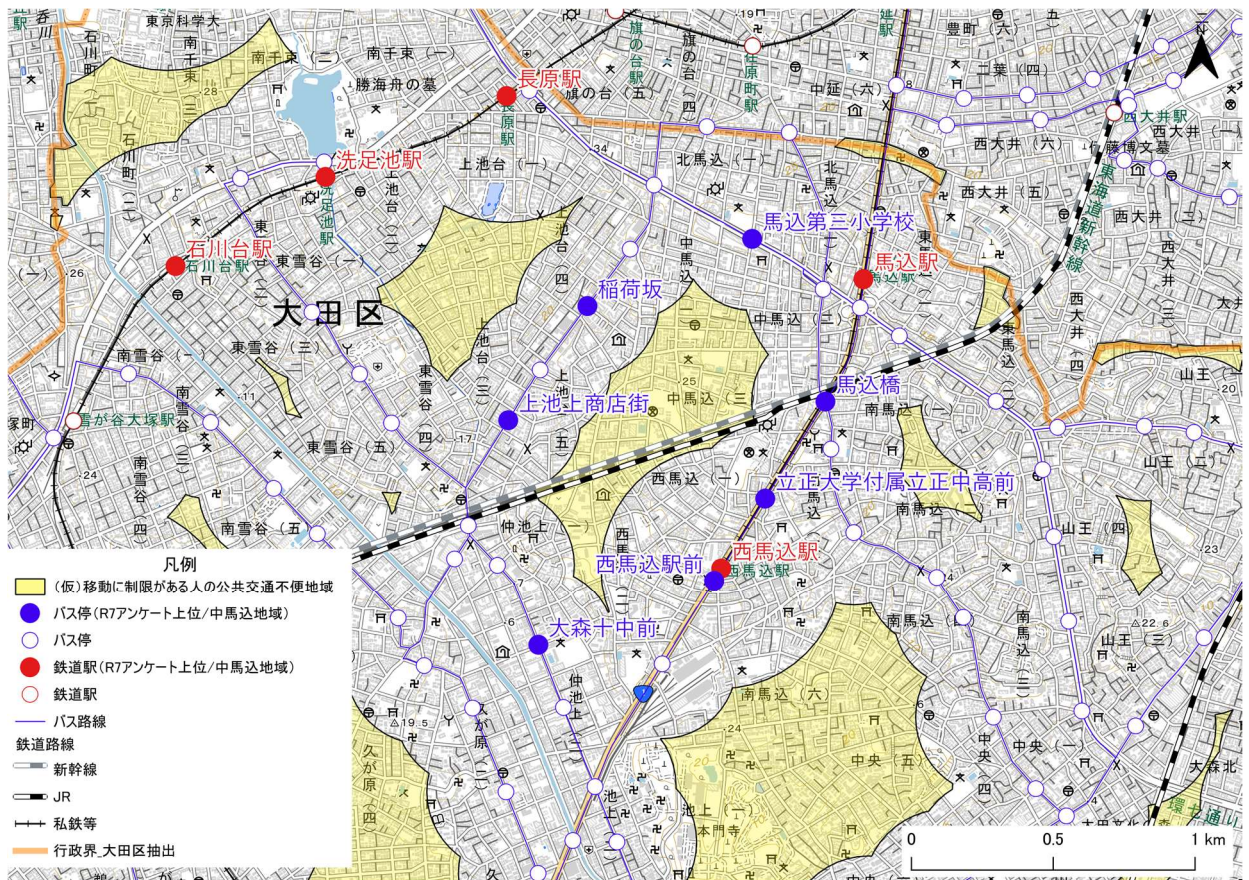
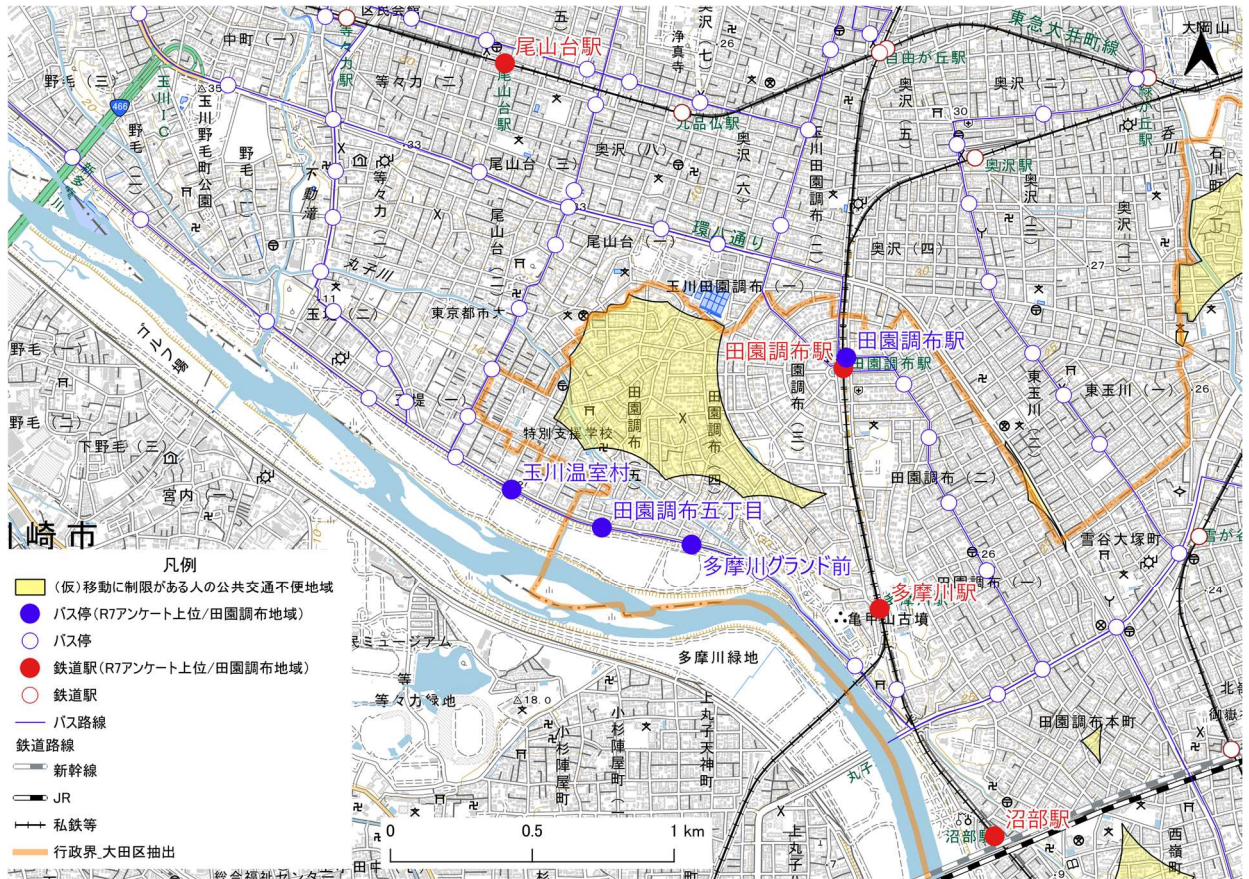


図 10 アンケート上位回答の駅・バス停（上：田園調布地域、下：中馬込地域）

資料：地理院タイル（淡色地図）を加工して作成

6. 買物（生鮮食品）で最も利用するお店

<田園調布地域>

- ・「東急ストア プレッセ田園調布店」（30.8%）の利用が、他の店舗と比べて突出して多い。

<中馬込地域>

- ・ライフ、オーケー、東急ストアなど、複数の店舗に分散している。
- ・店舗名まで記載がある回答を見ると、ライフは「ライフ上池台店」、オーケーは「オーケー仲池上店」、東急ストアは「東急ストア上池台店」の回答が多いことから、店舗名不明の回答についても、これらの店舗を意図して回答している可能性が高い。

表 1 買物（生鮮食品）で最も利用するお店（左：田園調布地域、右：中馬込地域）（問2-1）

区分	人数	構成比	区分	人数	構成比
東急ストア プレッセ田園調布店	142	30.8%	ライフ（店舗名不明）	25	13.1%
オーケー田園調布店	35	7.6%	オーケー（店舗名不明）	24	12.6%
オーケー（店舗名不明）	28	6.1%	ライフ上池台店	23	12.0%
東急ストア（店舗名不明）	25	5.4%	オーケー仲池上店	15	7.9%
オオゼキ（店舗名不明）	21	4.6%	東急ストア（店舗名不明）	15	7.9%
まいばすけっと（店舗名不明）	21	4.6%	東急ストア上池台店	14	7.3%
オオゼキ尾山台店	18	3.9%	オオゼキ（店舗名不明）	11	5.8%
東急ストア二子玉川ライズ店	17	3.7%	コンフォートマーケット西馬込店	10	5.2%
食品館あおば自由が丘店	12	2.6%	まいばすけっと（店舗名不明）	5	2.6%
ピーコックストア 自由が丘 デュ アオーネ店	10	2.2%	オオゼキ旗の台店	4	2.1%
ライフ（店舗名不明）	9	2.0%	スーパーキタムラ	4	2.1%
まいばすけっと玉堤2丁目店	8	1.7%	マルエツプチ馬込駅前店	4	2.1%
二子玉川ライズ	8	1.7%	東急ストア大森店	3	1.6%
オリンピック下丸子店	7	1.5%	東急ストア池上店	3	1.6%
スーパーバリュー等々力店	7	1.5%	オーケー戸越店	2	1.0%
ナショナル田園	5	1.1%	コンビニ	2	1.0%
生協（宅配を含む）	5	1.1%	生協（宅配を含む）	2	1.0%
ライフ鶴の木店	5	1.1%	その他	15	7.9%
イトーヨーカドーグランツリー武蔵小杉店	4	0.9%	未回答	10	5.2%
東急ストアフレル・ウィズ自由が丘店	4	0.9%	合計	191	100.0%
foodium武蔵小杉	2	0.4%			
イオンスタイル御獄山駅前	2	0.4%			
オーケー新用賀店	2	0.4%			
オオゼキ御獄山店	2	0.4%			
オオゼキ雪が谷店	2	0.4%			
オリンピック（店舗名不明）	2	0.4%			
サミットストア（店舗名不明）	2	0.4%			
西友（店舗名不明）	2	0.4%			
その他ネットスーパー、宅配等	2	0.4%			
ヒルママーケットプレイス大岡山店	2	0.4%			
まいばすけっと奥沢8丁目店	2	0.4%			
ライフ目黒八雲店	2	0.4%			
ロピア港北インター店	2	0.4%			
笹屋	2	0.4%			
マルエツ（店舗名不明）	2	0.4%			
ローソン多摩川駅前店	2	0.4%			
地産マルシェ田園調布店	2	0.4%			
その他	23	5.0%			
未回答	13	2.8%			
合計	461	100.0%			

※回答者が2名以上の店舗を抽出している（回答者が1名の店舗は「その他」に集約）

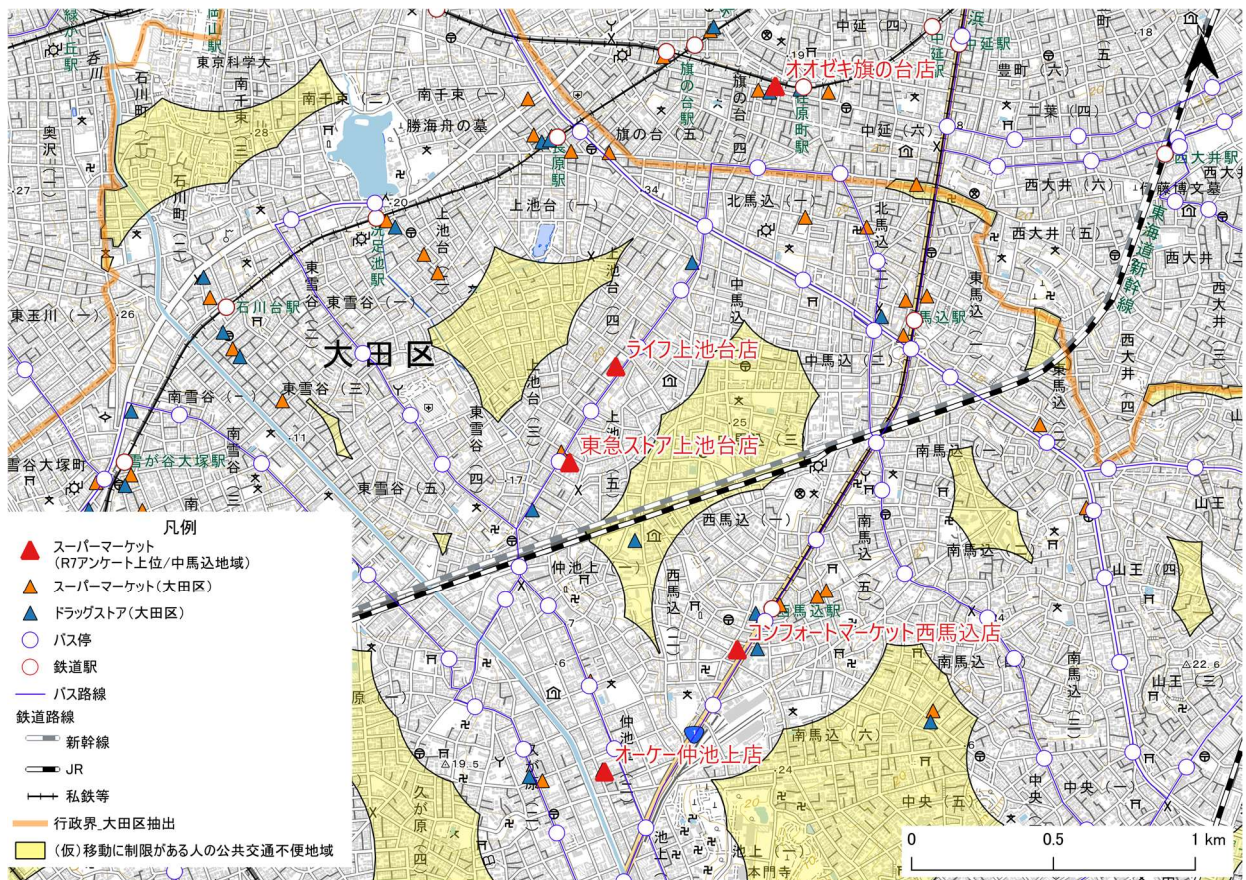
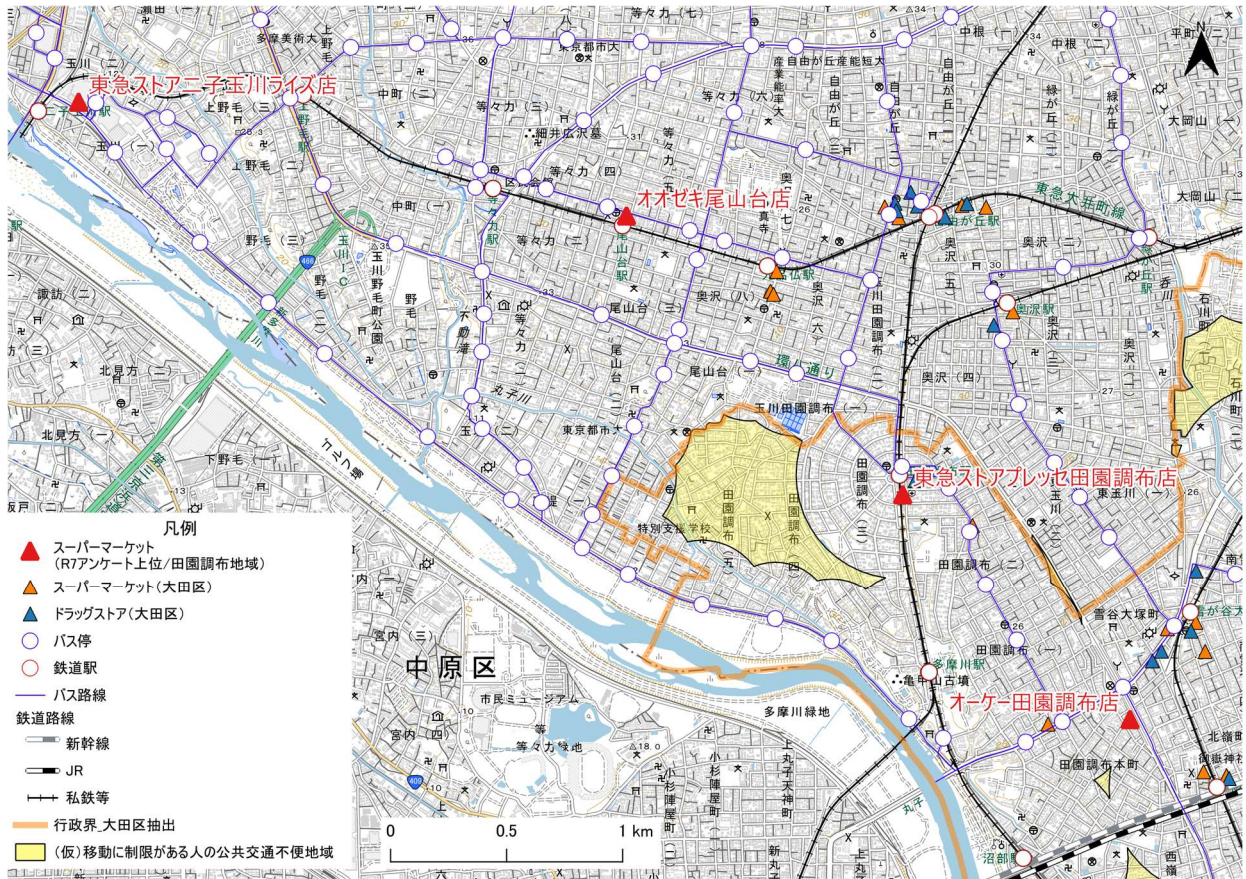


図 11 アンケート上位回答のスーパーマーケット等 (上: 田園調布地域、下: 中馬込地域)

資料: 地理院タイル (淡色地図) を加工して作成

7. 最も利用するお店への移動手段

<田園調布地域>

・「自家用車（自分の運転）」（37.5%）が最多であり、「自家用車（家族や知人による送迎）」（13.7%）も他地域と比較して多い。

・「その他」（自由記述）の回答として、「宅配」を利用している回答もみられた。

<中馬込地域>

・「徒歩のみ」（33.0%）と「自転車」（35.1%）が主な移動手段となっている。

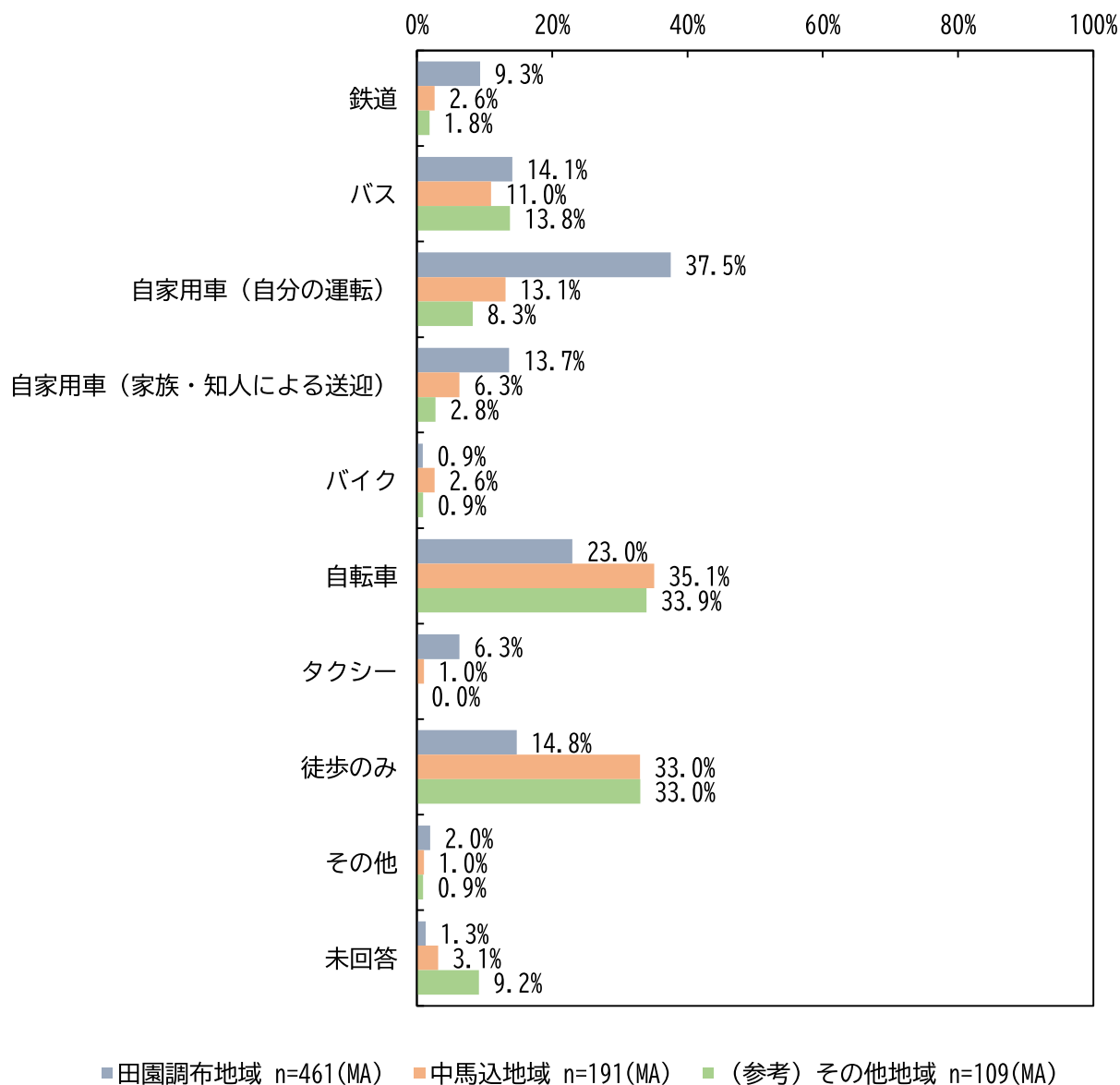


図 12 最も利用するお店への移動手段（問 2-2）

※「徒歩のみ」については、徒歩以外の移動手段を選択していない回答のみを抽出している（以降同様）。

8. 最も通院頻度が高い医療機関

<田園調布地域>

- ・田園調布一丁目の「田園調布中央病院」に通院している方からの回答が、ほかの医療機関と比較して多く寄せられている。

<中馬込地域>

- ・中馬込一丁目の「馬込中央診療所」に通院している方からの回答が最も多いが、田園調布地域と比べて通院頻度の高い医療機関は、分散傾向にある。

表 2 最も通院頻度が高い医療機関（左：田園調布地域、右：中馬込地域）（問 3-2）

区分	人数	構成比	区分	人数	構成比
田園調布中央病院	40	15.0%	馬込中央診療所	10	7.6%
柳澤博愛医院	15	5.6%	藤井内科クリニック	8	6.1%
国立病院機構東京医療センター	14	5.3%	うへの内科外科医院	7	5.3%
昭和医科大学病院	11	4.1%	昭和医科大学病院	6	4.5%
東急病院	10	3.8%	東京都立荏原病院	5	3.8%
田園小児科クリニック	8	3.0%	大森赤十字病院	5	3.8%
東京田園調布駅前呼吸器内科・内科クリニック	7	2.6%	東邦大学医療センター大森病院	4	3.0%
東邦大学医療センター大森病院	6	2.3%	もろおか整形外科	4	3.0%
田園調布ファミリークリニック	6	2.3%	池上総合病院	4	3.0%
慶應義塾大学病院	5	1.9%	須藤メディカルクリニック	4	3.0%
ふくろうクリニック自由が丘	5	1.9%	中馬込おがわ内科	3	2.3%
東京都立荏原病院	4	1.5%	まごめ内科・腎クリニック	3	2.3%
藤田記念耳鼻咽喉科	4	1.5%	まごめクリニック	3	2.3%
久富医院	4	1.5%	青木医院	2	1.5%
田園調布長田整形外科	4	1.5%	西馬込あくつ耳鼻咽喉科	2	1.5%
田園調布呼吸器・内科クリニック	4	1.5%	東京慈恵会医科大学附属病院	2	1.5%
AR-Ex尾山台整形外科	3	1.1%	つきのわクリニック	2	1.5%
東京医科大学病院	2	0.8%	NTT東日本関東病院	2	1.5%
自由が丘みきブレストクリニック	2	0.8%	千束呼吸器アレルギークリニック	2	1.5%
藤田医院	2	0.8%	田中整形外科	2	1.5%
日本医科大学武蔵小杉病院	2	0.8%	上池上診療所	2	1.5%
東京慈恵会医科大学附属病院	2	0.8%	その他	43	32.6%
竹内内科小児科医院	2	0.8%	未回答	7	5.3%
NTT東日本関東病院	2	0.8%	合計	132	100.0%
柳沢医院	2	0.8%			
池上総合病院	2	0.8%			
その他	90	33.8%			
未回答	8	3.0%			
合計	266	100.0%			

※回答者が2名以上の医療機関を抽出している（回答者が1名の医療機関は「その他」に集約）

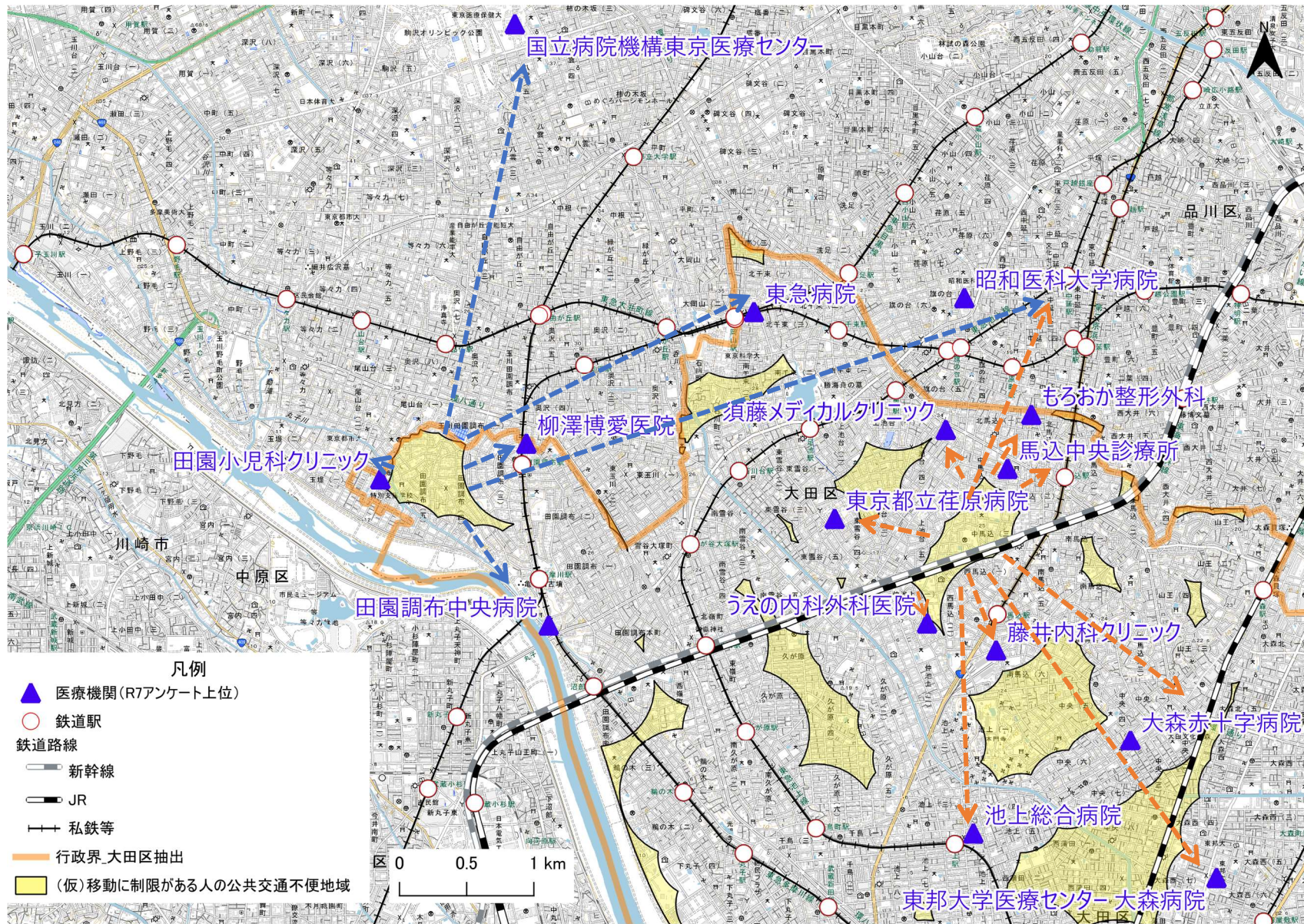


図 13 アンケート上位回答 (上位 3%) の医療機関 (青矢印: 田園調布地域、橙矢印: 中馬込地域)

※医療機関の場所が広範囲に分散しているため、田園調布・中馬込両地域の上位回答を一つの地図にまとめて掲載した。各地域から選ばれた主な行き先を矢印で示している。

資料: 地理院タイル (淡色地図) を加工して作成

9. 医療機関への移動手段

<田園調布地域>

・「鉄道」(42.1%)、「路線バス」(28.9%)、「自家用車(自分の運転)」(20.3%)が主に利用されている。

<中馬込地域>

・「徒歩のみ」(35.6%)、「自転車」(26.5%)、「路線バス」(22.0%)が主に利用されている。

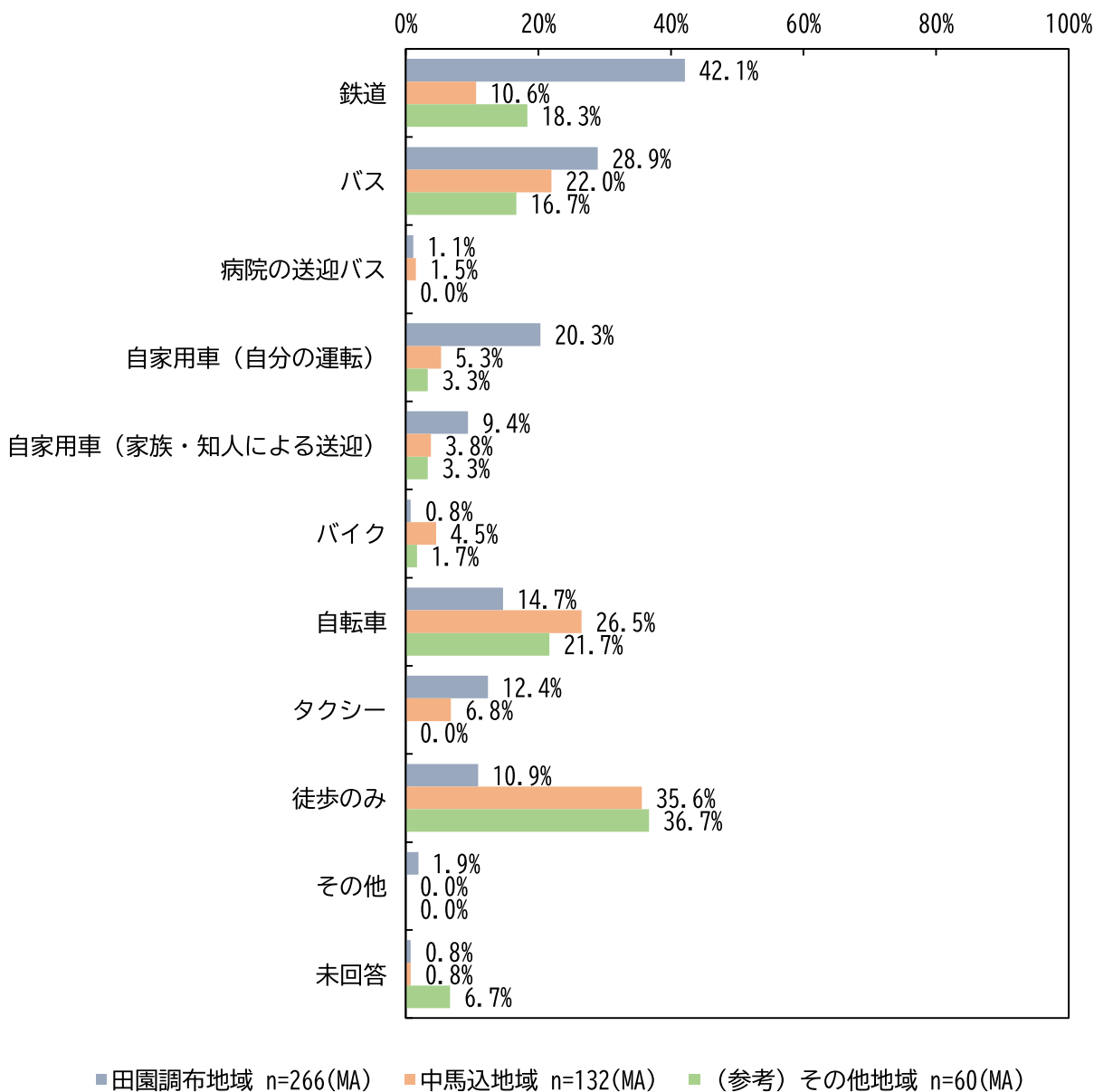


図 14 医療機関への移動手段(問3-3)

※医療機関への移動手段のn数は、問3-1で「定期的な通院をしている」と回答した者

10. 買物（生鮮食品）、通院以外の外出目的と移動手段

<共通>

- ・「通勤・通学」（約3割）や「趣味・習い事」（約2割強）が主な外出目的となっている。
- ・移動手段は、「鉄道」利用が最大（田園調布地域52.9%、中馬込地域39.3%）、次点で「バス」（田園調布地域31.2%、中馬込地域37.7%）が利用されており、主に「通勤・通学」等の広域移動の需要が反映されていると考えられる。

<田園調布地域>

- ・「自家用車（自分の運転、家族・知人による送迎）」の利用が、中馬込地域と比べて特に多い。

<中馬込地域>

- ・「徒歩のみ」や「自転車」での移動が、田園調布地域と比べて特に多い。

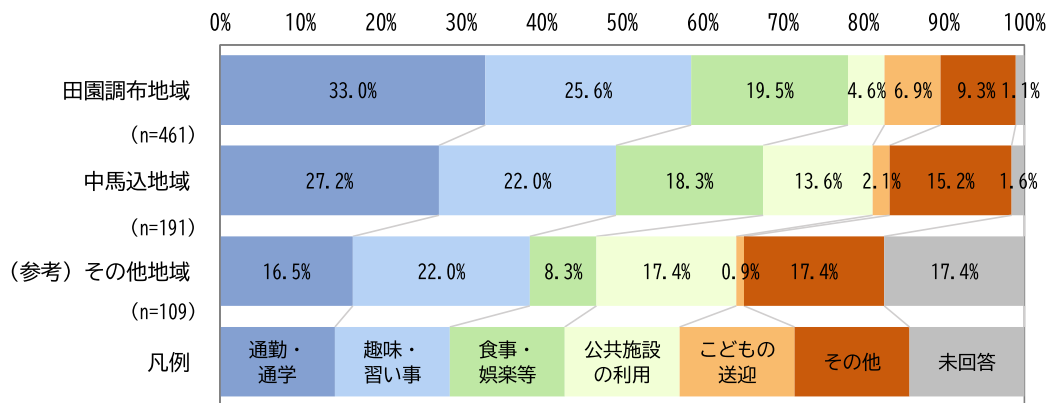


図 15 買物（生鮮食品）、通院以外でよく外出するときの目的（問4-1）

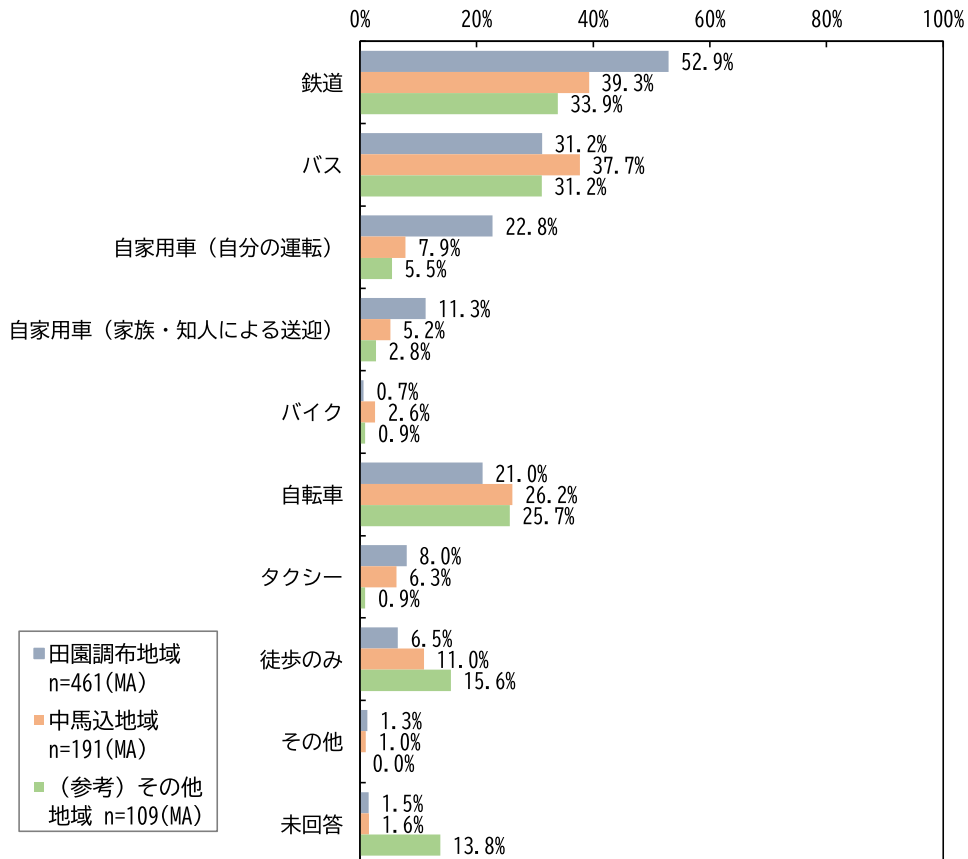


図 16 買物（生鮮食品）、通院以外の外出先への移動手段（問4-2）

11. 地域で外出時（買物、通院、その他の用事）に困っていることや不便に感じていること

<共通>

- ・「階段や坂道が多く、移動が大変」（田園調布地域 64.0%、中馬込地域 45.0%）が最大課題である。

<田園調布地域>

- ・「その他」（自由記述）の回答では、「タクシーが少ない」や「将来的な不安（免許返納後、年を取ってからの健康に対する不安）」などの回答が挙げられている。

<中馬込地域>

- ・「特に困っていることはない」（23.0%）が、「利用できる交通手段が少ない」（22.0%）や「天候による影響を受けやすい」（24.6%）と同水準となっている。
- ・「その他」（自由記述）の回答では、「大森・蒲田方面へのアクセスが不便」といった回答が複数寄せられている。

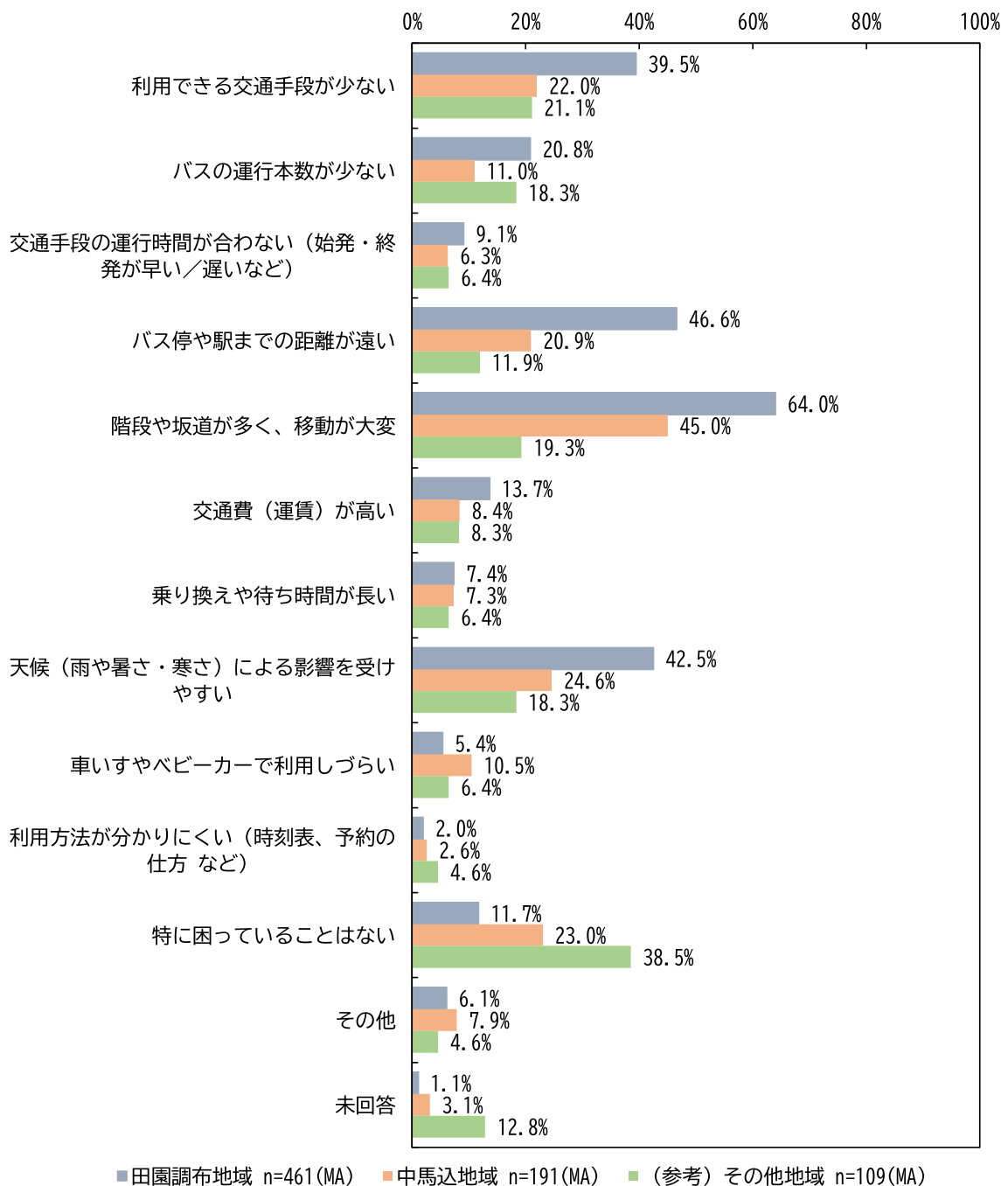
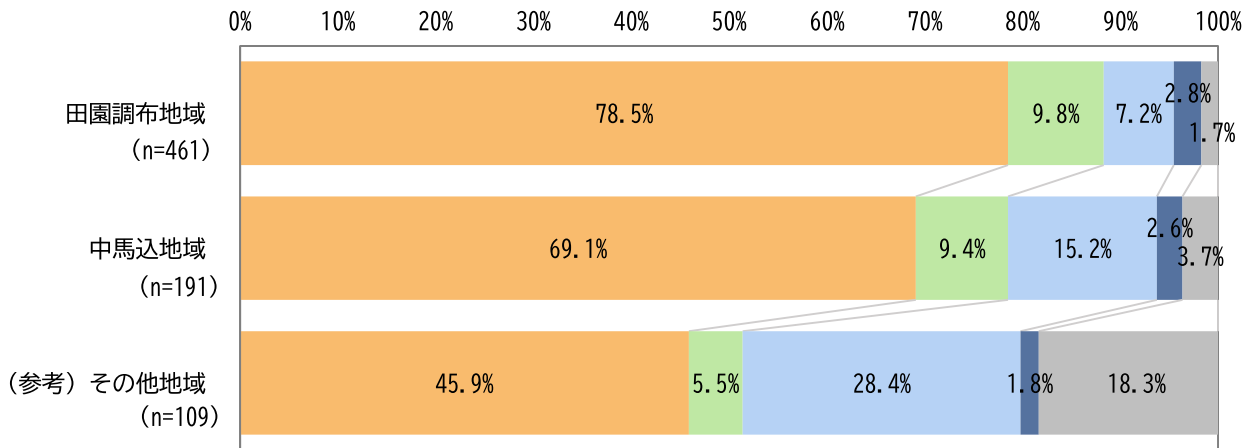


図 17 外出時の困りごとや不便に感じる事（問 5-1）

12. 地域の実情にあった交通手段の導入のための取組に関する最も近い考え

<共通>

- ・「住民主体の計画・導入に賛成する」について、田園調布地域 78.5%、中馬込地域 69.1%と、その他地域 (45.9%) と比較して、関心の高さがうかがえる。
- ・一方、「新しい交通手段は必要だが、住民主体の計画・導入に反対する」(約1割) や、「新たな交通手段は必要ない」(約1~1.5割) という意見も各地域ともにみられることから、地域交通を検討する上では、住民の意見を丁寧に聞きながら進めていく必要がある。



- 新しい交通手段を、地域住民が主体となり、行政と連携しながら計画・導入することに賛成である。
- 新しい交通手段は必要だが、地域住民が主体的に計画・導入することには反対である。
- 地域に新たな交通手段は必要とは思わない。
- その他
- 未回答

図 18 交通手段の導入のための取組に対する考え (問 6-1)

13. 地域に新たな交通手段が導入される場合、あなたが『利用したい』と思う条件

<共通>

- ・「乗降場所が自宅やよく利用する場所の近くにある」(田園調布地域 68.8%、中馬込地域 53.4%) や、「利用料金の手ごろさ」(田園調布地域 42.7%、中馬込地域 41.4%) を求める意見が多い。

<田園調布地域>

- ・上に挙げた意見のほか、「運行頻度が十分で待ち時間が無い」、「予約なしでも利用できる」ことへの要望も多い。
- ・「乗降場所が自宅やよく利用する場所の近くにある」、「運行頻度が十分で待ち時間が短い」、「予約なしでも利用できる」などは、田園調布地域の回答割合が中馬込地域より多い。

<中馬込地域>

- ・上に挙げた意見のほか、「予約なしでも利用できる」ことへの要望も多い。
- ・「車いすやベビーカーでも利用しやすい」、「曜日・時間帯の希望に合った運行がある」、「他の交通機関や既存サービス (JR・バスなど) への乗り継ぎがしやすい」、「スタッフや運転手の対応が親切で安心できる」などは、中馬込地域の回答割合が田園調布地域より多い。

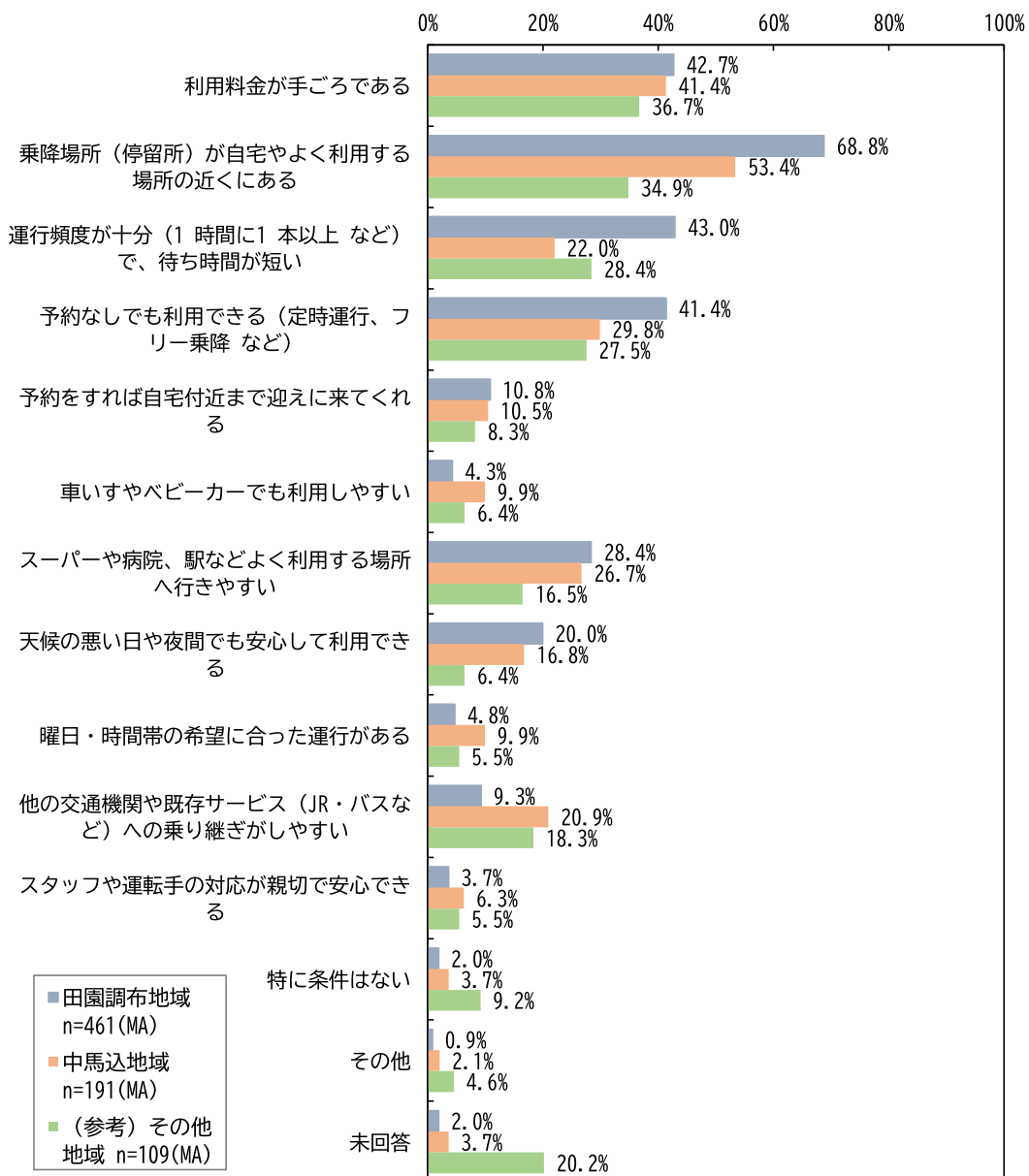


図 19 利用したい条件 (問 6-2)

<共通>

- ・問 6-2 で「利用料金が手ごろである」と回答した方について、具体的な金額を尋ねたところ、「100円～299円」の回答が田園調布地域で70.0%、中馬込地域で65.8%と、半数以上を占めている。

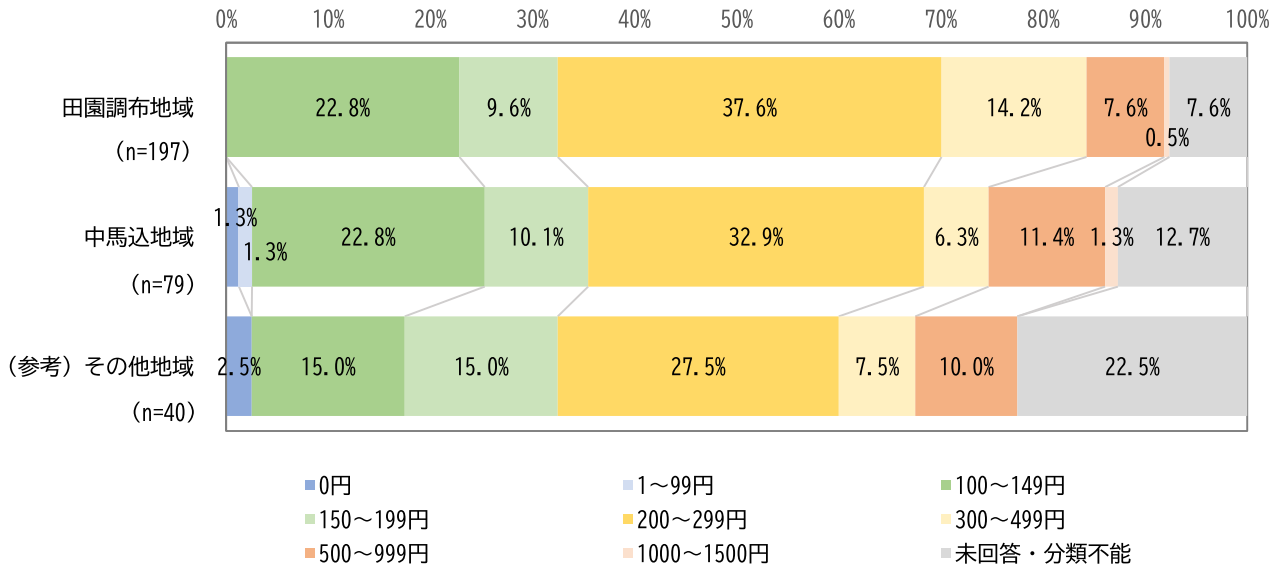


図 20 「利用料金が手ごろである」の具体的な金額（問 6-2）

※n 数は、問 6-2 で「利用料金が手ごろである」と回答した者

14. 問 6-2 で回答した条件で新たな交通手段が導入された場合の使用する頻度

<田園調布地域>

- ・「週 3 日以上」利用したいと答えた回答者が 58.6%と、実用的な交通手段としての期待感がうかがえる。

<中馬込地域>

- ・「週 3 日以上」利用したいと答えた回答者が 42.9%と、田園調布地域と比べると使用頻度の想定が低い。

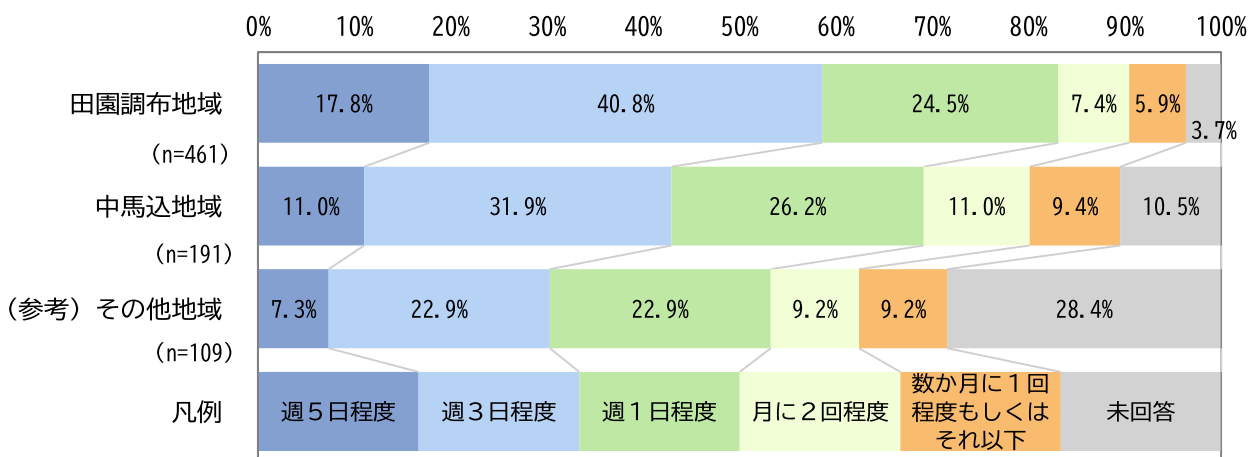


図 21 問 6-2 で回答した条件で交通手段が導入された場合の使用頻度（問 6-3）

15. 自由意見

<田園調布地域>

- ・田園調布駅へのアクセス改善に関する意見が特に多い。タクシーの利便性向上、免許返納後の不安、坂道による移動負担、買物環境の不便さ等に関する意見も多く寄せられた。

表 3 自由意見（田園調布地域）

分類		意見の内容	意見数
大項目	小項目		
交通手段	ルート、アクセスの改善	田園調布駅へのアクセス改善	90
		多摩川駅へのアクセス改善	4
		田園調布駅・多摩川駅以外へのアクセス改善(九品仏駅・尾山台駅・自由が丘駅・雪が谷大塚駅・武蔵小杉駅・臨海部等)	8
	運行形態、運賃、頻度等	車両の様式、運行時間帯、頻度、乗降場所(自宅近く等)に関する要望	10
		タクシーアプリ等を使えない高齢者等への配慮、予約が必要な場合の電話予約への対応	5
		100円バス等の安価な料金設定	5
		使いやすい、多様な用途に利用できる移動手段(高齢者や障がい者、子の送迎等)	4
		その他運行形態等に関する要望(定時定路線型、サブスク(定期)、福祉タクシー等の拡充、ライドシェア反対等)	4
	タクシー	円滑なタクシー利用に関する要望(駅での待ち時間の解消、混雑緩和、乗場の整備、タクシーの割引等)	16
路線バス(既存路線)	バスの始発・最終時間に関する要望	4	
自転車	駐輪場の増設、コミュニティサイクルのポート設置	5	
地形・生活基盤・安全	坂道負担	急な坂道による身体的・心理的な移動負担の解消	15
	買物困難	近くにスーパーや商店がなく不便	15
	将来不安	運転免許返納後等の将来の移動手段消失に対する不安、将来的な必要性	19
	安全面	安全な運行への要望、車両通行量増大への不安	6
その他	現状満足	現状のままで不自由なく暮らせている	4
	その他	導入への期待	8
		導入への疑問、慎重な姿勢、難しい問題	3
		地域外の交通に対する要望、アンケート実施への感謝・激励、意見等	11
		特になし	7
計			243

※回答内容を分類して整理した。1人で複数の意見を回答している場合は、それぞれを1つの回答として集計している(以降同様)。

※田園調布地域：自由意見の回答者数は208人、意見数は243件

<中馬込地域>

・蒲田駅へのアクセス改善や、小型バス等の導入、坂道による移動負担に関する意見が多く寄せられた。

表 4 自由意見（中馬込地域）

分類		意見の内容	意見数
大項目	小項目		
交通手段	ルート、アクセス改善	蒲田駅（区役所）への直通路線の新設・改善	14
		大森駅へのバス路線の増便・改善	5
		蒲田駅・大森駅以外へのアクセス改善（臨海部・大岡山駅・洗足池駅等）	6
		図書館や乳児健診等の公共施設や銀行等へのアクセス性向上	3
	運行形態、運賃、頻度等	小型バス・コミュニティバスの導入	10
		安価なパス制度、チケット制度等の導入、高頻度な運行	3
	路線バス（既存）	バス本数の増強、運行時間の延長、バス乗り換え時の同一会社割引制度	3
鉄道（駅）	浅草線（馬込駅・西馬込駅）のエレベーター増設、エスカレーター改善	2	
自転車	駐輪場に関する要望	1	
地形・生活基盤・安全	坂道負担	坂による移動負担の解消	9
	待合・アクセス環境	バス停・乗車場所への椅子の設置や、坂の途中の休憩場所の設置	2
	将来不安	免許返納後の生活への不安、閉じこもりへの対策	8
	買物困難	スーパー・コンビニの不足による不便	4
	危険運転への対策	自転車・電動キックボード等の危険運転への対策	2
その他	その他	地域外の交通に対する要望、アンケート実施への感謝・激励・意見、施策の早期実現の希望等	10
計			82

※中馬込地域：自由意見の回答者数は 73 人、意見数は 82 件

表 5 自由意見（その他地域）

分類		意見の内容	意見数
大項目	小項目		
交通手段	ルート、アクセス改善	アクセス改善に関する意見（蒲田駅・西大井駅）	2
	運行形態、運賃、頻度等	小型バス・コミュニティバスの導入	2
	自転車	駐輪場の増設	1
地形・生活基盤・安全	買物困難	スーパー・コンビニの不足による不便	1
	将来不安	将来的な必要性	1
その他	現状満足	現状のままで不自由なく暮らせている	4
	その他	その他・特になし等	6
計			17

※その他地域：自由意見の回答者数は 17 人、意見数は 17 件

第3節 総括

1. アンケート結果から得られた主な知見

1) 移動における最大課題

外出時の最大の課題は「階段や坂道が多く、移動が大変」である点であり、田園調布地域では 64.0%、中馬込地域では 45.0%の回答者が困りごととして挙げている。また、坂道等の地形的な影響に加えて、「買物の荷物を持ちながら」「ベビーカー等を押しながら」「子どもを連れて」「悪天候」といった条件が重なることで、移動の難易度はさらに上昇する。

以上のことから、特に移動の制約を受けやすい高齢者や子育て世帯にとって、坂道等の地形的要因が、外出を妨げる主な要因となっている。

2) 新たな交通手段への期待と受容性

地域主体で行政と連携して新たな交通手段を導入することに対し、両地域とも約 7~8 割が賛成しており、導入への関心の高さがうかがえる。特に、現在自家用車を利用している層も、将来の免許返納後を見据えて新たな手段を必要としている状況が浮き彫りとなった。こうした潜在的な需要を早期に把握し、対応していくことは、住民の生活の質を維持しつつ、移動手段の転換を円滑に進めるうえで重要である。

一方で、「新しい交通手段は必要だが、住民主体には反対」「必要とは思わない」という意見も一定数見られ、住民主体の取組に対する受け止め方には幅がある。以上のことから、住民主体の取組を進める際には、地域の実情や住民の声を踏まえ、丁寧に検討していく必要がある。

3) 利用者の求める具体的なサービス条件

新たな交通手段に求める条件として、両地域とも「乗降場所（停留所）が自宅やよく利用する場所の近くにある」「利用料金が手ごろである」「予約なしでも利用できる」といった、日常的な使いやすさに直結する要素が多く挙げられている。これらは、買物や通院などの短距離移動を中心とする地域の生活実態を反映していると考えられ、利用者が負担なく継続的に利用できる環境整備が重要であることを示している。

今後の検討にあたっては、住民のニーズや利用場面を把握しつつ、地域や生活圏の特性を踏まえた導入形態や運行方式の具体化を進めていくことが求められる。

2. 各地域の考察

1) 田園調布地域

田園調布地域は、現在「自家用車（自分の運転）」による移動が約 5 割を占める、自家用車への依存度が比較的高い地域である。一方で、70 歳以降は運転免許の保有率が急激に低下し、80 歳以上では「自ら運転しない層」が 7 割を超える。

以上を踏まえると、本地域は「自家用車への依存が高い一方で、加齢によりその手段を失う」というリスクを抱えており、アンケートでも「免許返納後の不安」を訴える回答が確認されている。

特に、買物（生鮮食品）の目的地が「田園調布駅周辺（プレッセ）」に集中していることから、自宅と駅・商業拠点を結ぶ「ラストワンマイル」をいかに確保するかが、高齢期の生活の質を維持するうえで重要となる。条件を整えば週 3 日以上の利用を希望する声が約 6 割に達しており、実用性と日常性を重視したサービス設計が求められる。

2) 中馬込地域

中馬込地域は、自転車や徒歩が主要な移動手段となっている。町丁目別にみると、多くの住民は自宅から比較的近い施設を利用している一方、不便地域の中心に位置する中馬込三丁目では、いずれの目的地も相対的に距離があり、徒歩・自転車での移動負担が大きい状況にある。

以上を踏まえると、本地域は「徒歩・自転車圏内での生活が基本である一方、坂道が行動範囲を制限している」状況にあり、特に中馬込三丁目では強い傾向にある。

一方で、一定の距離を歩けばバス停やスーパーが存在するため、歩行可能な住民は徒歩で移動している状況でもあり、単純に特定の地点間を結ぶだけでは利用されない可能性がある。そのため、公共交通で補完すべき範囲や役割については、地域の生活圏や住民の移動実態を踏まえ、地域内で合意形成を図りながら検討していくことが求められる。